

議案第 65 号

令和 4 年度

一般会計補正予算書  
(第 1 号)

京都府京丹後市



議案第65号

令和4年度京丹後市一般会計補正予算（第1号）

令和4年度京丹後市一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ244,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ35,874,000千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

（繰越明許費）

第2条 地方自治法第213条第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表 繰越明許費」による。

（地方債の補正）

第3条 地方債の変更は、「第3表 地方債補正」による。

令和4年4月21日提出

京丹後市長 中山 泰

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算 補 正

歳 入

款	項
21 繰 入 金	2 基 金 繰 入 金
24 市 債	1 市 債
歳 入	合 計



歳 出

款		項	
2 総	務 費		
		1 総	務 管 理 費
14 予	備 費		
		1 予	備 費
歳 出		合 計	







## 第 2 表 繰越明許費

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
02 総務費	01 総務管理費	庁舎整備事業	185,000

第 3 表 地

起債の目的	補 正 前		
	限 度 額	起債の方法	利 率
庁舎整備事業	0	証券発行の方法によって起債する場合、発行価格が額面金額を下まわるときは、その発行価格差減額をうめるため必要な金額を加算した額 証書借入 又は 証券発行 (ただし、証券発行の方法による場合においては、発行価格は額面金額100円につき98円50銭以上とする。)	5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)

# 方 債 補 正

(単位：千円)

償還の方法	補 正 後				
	限 度 額		起債の方法	利 率	償還の方法
<p>政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合には、その債権者と協定するものとする。</p> <p>ただし、市財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、若しくは繰上償還又は低利に借換えすることができる。</p>	229,000	補正前に同じ	補正前に同じ	補正前に同じ	補正前に同じ

歳入歳出補正予算事項別明細書

1 総括  
歳入

款	補正前の額
21 繰入金	2,891,349
24 市債	3,133,300
歳入合計	35,630,000

(単位：千円)

補 正 額	計	備 考
15,000	2,906,349	
229,000	3,362,300	
244,000	35,874,000	

歳 出

款	補正前の額	補 正 額
2 総 務 費	4,819,143	243,518
14 予 備 費	28,784	482
歳 出 合 計	35,630,000	244,000



2 歳 入

款 項 目		補正前の額	補 正 額	計
21	繰入金	2,891,349	15,000	2,906,349
	2 基金繰入金	2,880,349	15,000	2,895,349
	1 基金繰入金	2,880,349	15,000	2,895,349

24	市債	3,133,300	229,000	3,362,300
	1 市債	3,133,300	229,000	3,362,300
	1 総務債	572,600	229,000	801,600



(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
1 財政調整基金繰入金	15,000	財政調整基金繰入金 15,000

1 総務管理債	229,000	庁舎整備事業債 229,000

001 一般会計

3 歳 出

款 項 目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳					
				特 定 財 源			一般財源		
				国府支出金	地 方 債	そ の 他			
2	総務費	4,819,143	243,518	5,062,661		229,000		14,518	
	1	総務管理費	4,303,492	243,518	4,547,010		229,000		14,518
		8 庁舎管理費	103,910	243,518	347,428		229,000		14,518
		市債 庁舎整備事業債					229,000 229,000		

14		予備費	28,784	482	29,266				482
	1	予備費	28,784	482	29,266				482
		1 予備費	28,784	482	29,266				482

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
7 報 償 費	112	庁舎整備事業 243,518
8 旅 費	438	
11 役 務 費	168	
12 委 託 料	202,800	
14 工 事 請 負 費	40,000	
		予備費 482

001 一般会計

【議案第65号】

令和4年度 一般会計補正予算（第1号）

# 総括説明資料

京都府京丹後市

一般会計歳入補正予算（第1号）

■歳入款別内訳

■歳入構造

(単位：千円、%)

(単位：千円、%)

区分		補正前 予算額	構成比	補正 予算額	補正後 予算額	構成比	増減率	区分		補正前 予算額	構成比	補正 予算額	補正後 予算額	構成比	増減率
1	市 税	5,066,876	14.2	0	5,066,876	14.1	0.0	依 存 財 源	地方譲与税	302,296	0.8	0	302,296	0.8	0.0
2	地方譲与税	302,296	0.8	0	302,296	0.8	0.0		利子割交付金	4,000	0.0	0	4,000	0.0	0.0
3	利子割交付金	4,000	0.0	0	4,000	0.0	0.0		配当割交付金	30,000	0.1	0	30,000	0.1	0.0
4	配当割交付金	30,000	0.1	0	30,000	0.1	0.0		株式等譲渡所得割交付金	26,000	0.1	0	26,000	0.1	0.0
5	株式等譲渡所得割交付金	26,000	0.1	0	26,000	0.1	0.0		法人事業税交付金	54,000	0.2	0	54,000	0.2	0.0
6	法人事業税交付金	54,000	0.2	0	54,000	0.2	0.0		地方消費税交付金	1,200,000	3.4	0	1,200,000	3.3	0.0
7	地方消費税交付金	1,200,000	3.4	0	1,200,000	3.3	0.0		ゴルフ場利用税交付金	8,200	0.0	0	8,200	0.0	0.0
8	ゴルフ場利用税交付金	8,200	0.0	0	8,200	0.0	0.0		自動車取得税交付金	1	0.0	0	1	0.0	0.0
9	自動車取得税交付金	1	0.0	0	1	0.0	0.0		環境性能割交付金	45,000	0.1	0	45,000	0.1	0.0
10	環境性能割交付金	45,000	0.1	0	45,000	0.1	0.0		国有提供施設等 所在市町村助成交付金	56,000	0.2	0	56,000	0.2	0.0
11	国有提供施設等 所在市町村助成交付金	56,000	0.2	0	56,000	0.2	0.0		地方特例交付金	25,000	0.1	0	25,000	0.1	0.0
12	地方特例交付金	25,000	0.1	0	25,000	0.1	0.0		地方交付税	14,400,000	40.4	0	14,400,000	40.1	0.0
13	地方交付税	14,400,000	40.4	0	14,400,000	40.1	0.0		交通安全対策特別交付金	4,000	0.0	0	4,000	0.0	0.0
	普通交付税	13,000,000	36.5	0	13,000,000	36.2	0.0	国庫支出金	3,604,957	10.1	0	3,604,957	10.0	0.0	
	特別交付税	1,400,000	3.9	0	0	0.0	0.0	府支出金	2,427,488	6.8	0	2,427,488	6.8	0.0	
14	交通安全対策特別交付金	4,000	0.0	0	4,000	0.0	0.0	市債	3,133,300	8.8	229,000	3,362,300	9.4	7.3	
15	分担金及び負担金	174,376	0.5	0	174,376	0.5	0.0	(小計)	25,320,242	71.1	229,000	25,549,242	71.2	0.9	
16	使用料及び手数料	601,239	1.7	0	601,239	1.7	0.0	自 主 財 源	市 税	5,066,876	14.2	0	5,066,876	14.1	0.0
17	国庫支出金	3,604,957	10.1	0	3,604,957	10.0	0.0		分担金及び負担金	174,376	0.5	0	174,376	0.5	0.0
18	府支出金	2,427,488	6.8	0	2,427,488	6.8	0.0		使用料及び手数料	601,239	1.7	0	601,239	1.7	0.0
19	財産収入	168,247	0.5	0	168,247	0.5	0.0		財産収入	168,247	0.5	0	168,247	0.5	0.0
20	寄附金	1,000,000	2.8	0	1,000,000	2.8	0.0		寄附金	1,000,000	2.8	0	1,000,000	2.8	0.0
21	繰入金	2,891,349	8.1	15,000	2,906,349	8.1	0.5		繰入金	2,891,349	8.1	15,000	2,906,349	8.1	0.5
22	繰越金	150,000	0.4	0	150,000	0.4	0.0		繰越金	150,000	0.4	0	150,000	0.4	0.0
23	諸収入	257,671	0.7	0	257,671	0.7	0.0		諸収入	257,671	0.7	0	257,671	0.7	0.0
24	市債	3,133,300	8.8	229,000	3,362,300	9.4	7.3	(小計)	10,309,758	28.9	15,000	10,324,758	28.8	0.1	
	うち臨時財政対策債	290,000	0.8	0	290,000	0.8	0.0								
歳入合計		35,630,000	100.0	244,000	35,874,000	100.0	0.7	歳入合計		35,630,000	100.0	244,000	35,874,000	100.0	0.7

一般会計歳出補正予算（第1号）

■目的別内訳

(単位：千円、%)

■性質別内訳

(単位：千円、%)

目的別	目的別内訳			増減率			性質別	性質別内訳			増減率				
	補正前 予算額	構成比	補正 予算額	補正後 予算額	構成比	増減率		補正前 予算額	構成比	補正 予算額	補正後 予算額	構成比	増減率		
1 議会費	209,415	0.6	0	209,415	0.6	0.0	義務的	人件費	6,788,378	19.0	0	6,788,378	18.9	0.0	
2 総務費	4,819,143	13.5	243,518	5,062,661	14.1	5.1		扶助費	4,661,157	13.1	0	4,661,157	13.0	0.0	
3 民生費	10,470,364	29.4	0	10,470,364	29.2	0.0		公債費	4,698,649	13.2	0	4,698,649	13.1	0.0	
4 衛生費	4,629,525	13.0	0	4,629,525	12.9	0.0		(小計)	16,148,184	45.3	0	16,148,184	45.0	0.0	
5 労働費	59,535	0.2	0	59,535	0.2	0.0	その他	物件費	6,140,335	17.2	2,322	6,142,657	17.1	0.0	
6 農林水産業費	1,507,746	4.2	0	1,507,746	4.2	0.0		維持補修費	525,302	1.5	0	525,302	1.5	0.0	
7 商工費	1,373,933	3.8	0	1,373,933	3.8	0.0		補助費等	4,275,882	12.0	112	4,275,994	11.9	0.0	
8 土木費	3,535,332	9.9	0	3,535,332	9.8	0.0		積立金	838,527	2.4	0	838,527	2.3	0.0	
9 消防費	1,674,258	4.7	0	1,674,258	4.7	0.0		投資及び出資金	1,292,079	3.6	0	1,292,079	3.6	0.0	
10 教育費	2,623,316	7.4	0	2,623,316	7.3	0.0		貸付金	44,620	0.1	0	44,620	0.1	0.0	
11 災害復旧費	0	0.0	0	0	0.0	0.0		繰出金	2,668,028	7.5	0	2,668,028	7.5	0.0	
12 公債費	4,698,649	13.2	0	4,698,649	13.1	0.0		予備費	28,784	0.1	482	29,266	0.1	1.7	
14 予備費	28,784	0.1	482	29,266	0.1	1.7		(小計)	15,813,557	44.4	2,916	15,816,473	44.1	0.0	
								投資的	普通建設事業費	3,668,259	10.3	241,084	3,909,343	10.9	6.6
									補助事業費	874,981	2.5	0	874,981	2.4	0.0
									単独事業費	2,793,278	7.8	241,084	3,034,362	8.5	8.6
									災害復旧事業費	0	0.0	0	0	0.0	0.0
									補助事業費	0	0.0	0	0	0.0	0.0
							単独事業費		0	0.0	0	0	0.0	0.0	
歳出合計	35,630,000	100.0	244,000	35,874,000	100.0	0.7	歳出合計	35,630,000	100.0	244,000	35,874,000	100.0	0.7		

# ■基金の状況

(単位：千円)

所管会計	基金名称	平成29年度末現在高	平成30年度末現在高	令和元年度末現在高	令和2年度末現在高	令和3年度末現在高見込①	令和4年度中増減見込額						令和4年度末現在高見込①-②+③
							繰入金			積立金			
							補正前予算額	補正予算額	補正後予算額②	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額③	
一	財政調整基金	1,393,631	1,594,017	2,094,637	2,495,403	3,146,179	1,100,000	15,000	1,115,000	44	0	44	2,031,223
	減債基金	211,307	211,358	211,466	211,561	527,080	50,000	0	50,000	8	0	8	477,088
	地域環境保全基金	982	982	983	983	984	0	0	0	1	0	1	985
	奨学基金	132,681	139,087	137,150	136,862	136,390	3,000	0	3,000	12	0	12	133,402
	災害対策基金	34,252	30,260	27,276	24,288	20,298	4,000	0	4,000	1	0	1	16,299
	地域振興基金	1,755,063	1,415,498	1,136,198	916,726	667,077	200,000	0	200,000	13	0	13	467,090
	観光10万整備等促進実行調整費基金	127,836	151,894	100,903	117,987	122,999	30,000	0	30,000	2	0	2	93,001
	合併特例措置遞減対策準備基金	4,004,153	3,755,121	3,007,041	2,508,431	2,009,385	500,000	0	500,000	40	0	40	1,509,425
	過疎地域振興基金	1,033,804	1,034,046	1,034,571	1,035,036	1,035,420	0	0	0	21	0	21	1,035,441
	ふるさと応援基金	300,412	285,572	351,161	599,780	946,344	820,000	0	820,000	700,021	0	700,021	826,365
会	再編交付金事業基金	747,451	606,447	306,631	231,732	188,915	46,000	0	46,000	185	0	185	143,100
	学校教育施設整備基金	803	2,178	3,719	5,303	6,909	0	0	0	1,604	0	1,604	8,513
	韓哲・まちづくり夢基金	542,632	541,543	541,936	558,889	594,047	22,234	0	22,234	2,374	0	2,374	574,187
	谷口謙・未来応援基金	87,705	80,495	75,391	72,042	70,901	9,500	0	9,500	1,899	0	1,899	63,300
	豊かな森を育てる基金	415	9,713	13,910	6,178	184	0	0	0	0	0	0	184
	スポーツ施設整備基金		560	9,712	44,050	44,065	0	0	0	1	0	1	44,066
	森林環境譲与税基金			11,735	30,518	43,357	45,615	0	45,615	32,297	0	32,297	30,039
	新型コロナウイルス感染症支え合い基金				223,118	191,180	50,000	0	50,000	2	0	2	141,182
	都市拠点等整備まちづくり推進基金					100,013	0	0	0	100,002	0	100,002	200,015
	(合計)	10,373,127	9,858,771	9,064,420	9,218,887	9,851,727	2,880,349	15,000	2,895,349	838,527	0	838,527	7,794,905
【参考】特別会計	国民健康保険事業基金	5,359	5,360	5,363	5,365	5,367	0	0	0	1	0	1	5,368
	介護給付費準備基金	160,483	240,838	260,956	341,072	291,196	95,000	0	95,000	5	0	5	196,201
	介護サービス事業基金	296	296	296	297	298	0	0	0	1	0	1	299
	市民太陽光発電所事業基金	100,030	105,054	110,107	115,156	120,199	0	0	0	50	0	50	120,249
	簡易水道事業基金	90,517	0										
	集落排水事業基金	12,308	12,311	0									
	公共下水道事業減債基金	60,572	60,585	0									
	浄化槽整備事業基金	46,476	50,390	0									
	(合計)	476,041	474,834	376,722	461,890	417,060	95,000	0	95,000	57	0	57	322,117
総合計	10,849,168	10,333,605	9,441,142	9,680,777	10,268,787	2,975,349	15,000	2,990,349	838,584	0	838,584	8,117,022	

※本表には、国民健康保険高額療養費等貸付基金及び土地開発基金は含めていない。

※簡易水道事業基金は、平成31年4月から水道事業会計へ統合。集落排水事業、公共下水道事業、浄化槽整備事業の3特別会計基金は、令和2年4月から下水道事業会計として企業会計へ移行。

# ■市債の状況

(単位:千円)

区 分	平成30年度末 現在高	令和元年度末 現在高	令和2年度末 現在高	令和3年度末 現在高見込 ①	令和4年度中増減見込額						令和4年度末 現在高見込 ①+②-③
					借入見込額			元金償還見込額			
					補正前予算額	補正予算額	補正後予算額②	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額③	
1 公共事業等債	548,035	431,192	341,307	267,227	0	0	0	63,127	0	63,127	204,100
2 公営住宅建設事業債	339,332	307,144	290,048	251,530	66,600	0	66,600	32,804	0	32,804	285,326
3 災害復旧事業債	600,902	815,758	871,294	857,731	0	0	0	101,301	0	101,301	756,430
4 (旧)緊急防災・減災事業債	416,099	312,697	208,881	104,649				104,649	0	104,649	0
5 全国防災事業債	226,120	205,757	185,293	164,727				20,669	0	20,669	144,058
6 教育・福祉施設等整備事業債	1,236,272	995,317	841,691	686,823	0	0	0	148,448	0	148,448	538,375
うち 学校教育施設等整備事業債	207,962	162,183	133,237	103,780	0	0	0	24,696	0	24,696	79,084
うち 一般廃棄物処理事業債	71,216	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち 施設整備事業債 (一般財源化分)	729,052	655,292	581,532	507,772	0	0	0	73,760	0	73,760	434,012
7 一般単独事業債	14,589,195	14,201,533	13,751,500	13,511,066	1,926,200	229,000	2,155,200	2,009,787	0	2,009,787	13,656,479
うち 合併特例事業債	12,324,585	11,846,358	11,661,013	11,519,630	1,286,200	229,000	1,515,200	1,644,148	0	1,644,148	11,390,682
うち (新)緊急防災・減災事業債	1,616,136	1,734,265	1,573,133	1,488,571	336,400	0	336,400	276,745	0	276,745	1,548,226
うち 公共施設等適正管理 推進事業債		152,500	152,500	202,859	214,300	0	214,300	16,942	0	16,942	400,217
うち 緊急自然災害防止対策 事業債			46,500	122,900	41,700	0	41,700	0	0	0	164,600
うち 緊急浚渫推進事業債			2,400	22,700	35,400	0	35,400	266	0	266	57,834
8 辺地対策事業債	15,485	6,414	2,377	1,254	0	0	0	1,128	0	1,128	126
9 過疎対策事業債	6,031,452	6,969,542	7,588,828	7,941,798	850,500	0	850,500	716,064	0	716,064	8,076,234
10 厚生福祉施設整備事業債	16,483	0									
11 国の予算貸付・ 政府関係機関貸付債	488,031	450,021	412,485	374,829	0	0	0	35,175	0	35,175	339,654
12 財源対策債	79,002	61,367	50,378	39,392	0	0	0	9,379	0	9,379	30,013
13 減収補てん債	66,556	55,464	100,072	88,980	0	0	0	11,092	0	11,092	77,888
14 減税補てん債	129,556	99,459	73,667	51,867	0	0	0	17,979	0	17,979	33,888
15 臨時財政対策債	14,025,755	13,563,961	13,049,651	12,620,894	290,000	0	290,000	1,245,570	0	1,245,570	11,665,324
16 京都府貸付金	260,022	176,417	109,753	62,012	0	0	0	38,941	0	38,941	23,071
17 その他 (上水道一般会計出資債ほか)	149,634	135,261	121,491	107,369	0	0	0	14,484	0	14,484	92,885
合 計	39,217,931	38,787,304	37,998,716	37,132,148	3,133,300	229,000	3,362,300	4,570,597	0	4,570,597	35,923,851



■「第2表 繰越明許費」の参考資料

(単位：千円)

NO	部	課	款	項	予 算 事 業 名	事 業 名	金 額	繰越財源の内訳（予定）				繰越理由	完了予定
								国府支出金	市債	その他	一般財源		
1	市長公室	政策企画課	02 総務費	01 総務管理費	庁舎整備事業	庁舎整備事業	185,000	0	175,700	0	9,300	次年度に予定している実施設計も含めプロポーザル方式により一括発注するため。	R6.2
1件							185,000	0	175,700	0	9,300		

## 令和3年度会計別予算推移

(単位：千円)

会計名称			当初	1号補正 (4月臨時)	2号補正	3号補正	4号補正	5号補正	6号補正	7号補正	8号補正	合計
<b>一般会計</b>			35,630,000	244,000								35,874,000
特別 会計	国民健康保険事業 国民健康保険直営診療所事業 後期高齢者医療事業 介護保険事業 介護サービス事業 工業用地造成事業 宅地造成事業 市民太陽光発電所事業 峰山財産区 五箇財産区 (小計)	国民健康保険事業	6,498,000									6,498,000
		国民健康保険直営診療所事業	219,000									219,000
		後期高齢者医療事業	922,000									922,000
		介護保険事業	6,988,000									6,988,000
		介護サービス事業	149,000									149,000
		工業用地造成事業	10,000									10,000
		宅地造成事業	44,700									44,700
		市民太陽光発電所事業	47,000									47,000
		峰山財産区	5,700									5,700
		五箇財産区	900									900
		(小計)	14,884,300	0	0	0	0	0	0	0	0	14,884,300
<b>一般・特別会計合計</b>			50,514,300	244,000	0	0	0	0	0	0	0	50,758,300
企業 会計	水道 事業	収益的	収入	1,553,533								1,553,533
			支出	1,645,150								1,645,150
		資本的	収入	1,148,479								1,148,479
			支出	1,598,835								1,598,835
	下水道 事業	収益的	収入	2,279,451								2,279,451
			支出	2,520,302								2,520,302
		資本的	収入	2,053,177								2,053,177
			支出	2,663,297								2,663,297
	病院 事業	収益的	収入	7,293,000								7,293,000
			支出	7,600,000								7,600,000
		資本的	収入	912,583								912,583
			支出	1,151,097								1,151,097
	(小計)			17,178,681	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>京丹後市予算規模</b>			67,692,981	244,000	0	0	0	0	0	0	0	67,936,981

※ 企業会計の小計については、収益的支出及び資本的支出を合算した数値

※ 補正号数は、一般会計ベースでの記載

※ 予算総額に増減のない補正予算は「0」で表示








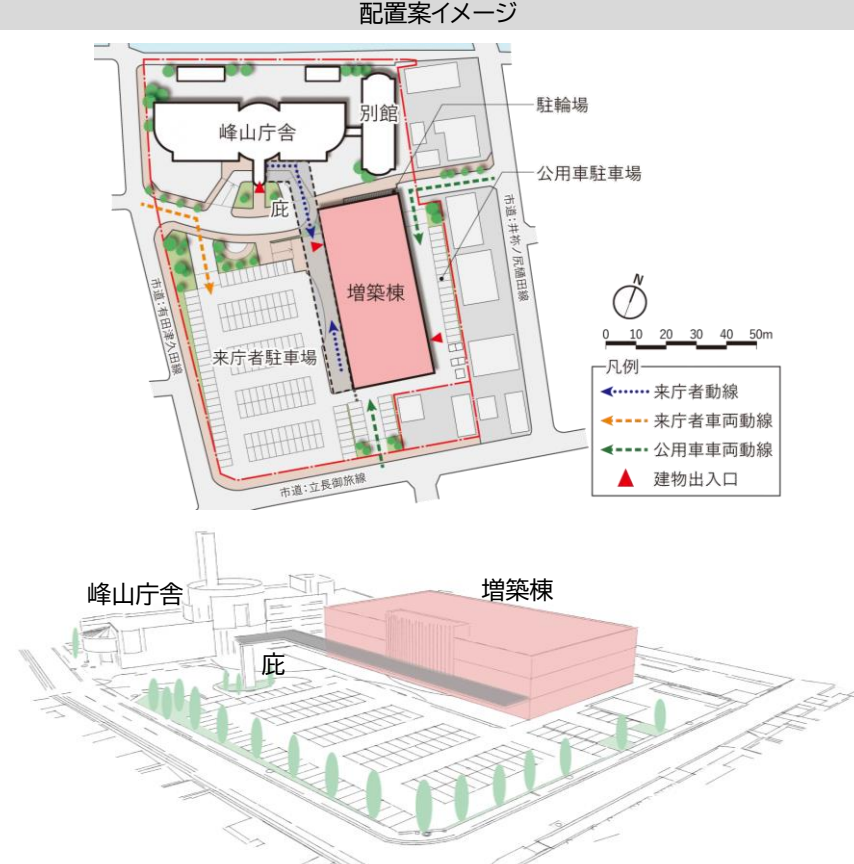
# 令和4年度 一般会計補正予算（第1号）

## 市長公室 主要事業説明資料

予算科目	款	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室
	項	243,518千円		0千円		243,518千円			
目	08 庁舎管理費		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	課	政策企画課
	事業	07 庁舎整備事業							
総合計画 計画項目	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）				229,000				一般財源 14,518
必要性	京丹後市総合計画の都市機能構想に基づく都市拠点及び地域拠点の形成に向け、SDGsの達成やSociety5.0、脱炭素社会の実現等の世界的潮流も踏まえ、市民が未来への活力を創造できる魅力的で持続可能なまちづくりのグランドデザイン推進事業として、京丹後市庁舎増築棟整備を実施する。		主な財源	市債 庁舎整備事業債（合併特例債）					229,000
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○庁舎増築棟整備設計者選定委員会経費 550千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員謝金（14千円×2人×4回） 112千円</li> <li>・旅費（費用弁償） 438千円</li> </ul> </li> <li>○庁舎増築棟整備経費 200,884千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築確認手数料（防災倉庫） 84千円</li> <li>・工事設計委託料 185,000千円</li> </ul> </li> </ul> <p>増築棟（基本設計、開発申請、ZEB設計、地盤調査、実施設計）  新防災倉庫（基本設計、地盤調査、実施設計）  既設防災倉庫等解体（アスベスト調査、実施設計）  峰山総合福祉センター駐車場整備（実施設計）  ※令和5年度への繰越明許費を設定（完了予定：令和6年2月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロポーザル発注等支援業務委託料 1,800千円</li> <li>・旧吉原小学校跡職員駐車場整備（実施設計） 14,000千円</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○旧吉原小学校校舎解体撤去経費〔財産活用課〕 42,084千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧吉原小学校校舎解体撤去工事費 40,000千円</li> <li>・工事監理委託料 2,000千円</li> <li>・浄化槽清掃及びし尿汲取手数料 84千円</li> </ul> </li> </ul>						

# 京丹後市庁舎増築棟整備基本計画の変更点

参考資料

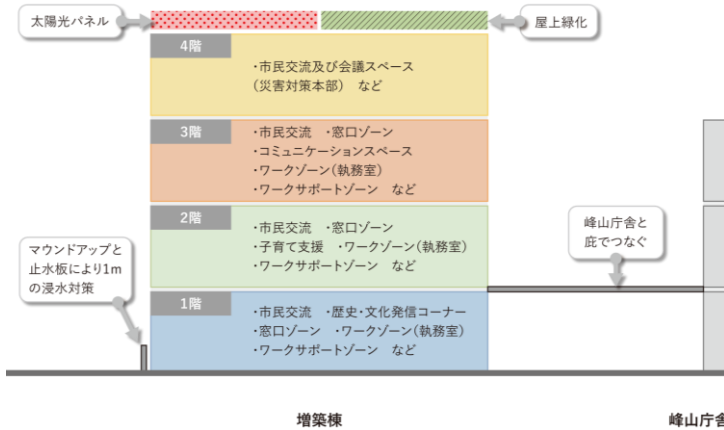
頁	変更前	変更後
P38	<p>職員数 本庁機能の集約化のE案で想定している職員数(256人)</p>	<p>職員数 本庁機能の集約化のE案から子育て相談関係の職員(25人)を除く職員数(231人)</p>
P40	<p>上記①～③の平均により、職員1人当たり面積を25.73㎡とし、前提となる職員数256人から増築棟面積を6,587㎡とします。</p>	<p>上記①～③の平均により、職員1人当たり面積は25.73㎡となり、前提となる職員数231人から増築棟面積は5,944㎡となりますが、増築棟面積をさらに縮小するため、現峰山庁舎の職員1人当たり面積22.05㎡をもとに増築棟面積を5,094㎡とします。</p>
P44	<p>配置案イメージ</p>  <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来庁者動線</li> <li>来庁者車両動線</li> <li>公用車両動線</li> <li>建物出入口</li> </ul>	<p>配置案イメージ</p>  <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来庁者動線</li> <li>来庁者車両動線</li> <li>公用車両動線</li> <li>建物出入口</li> </ul>



P45

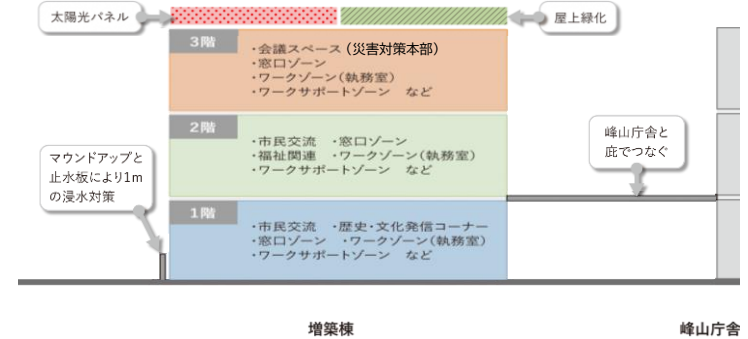
・会議エリアは市民利用にも配慮した計画とし、広いスペースを確保するために、4階にまとめて配置します。

空間構成のイメージ(断面)



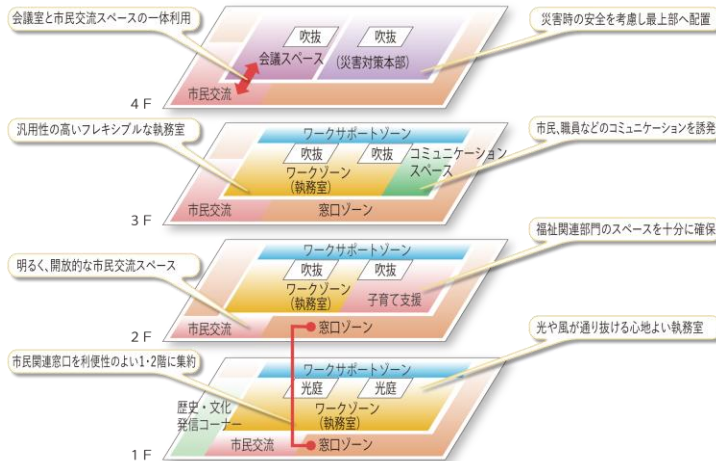
削除

空間構成のイメージ(断面)



P46

空間構成のイメージ(平面)



空間構成のイメージ(平面)



頁	変更前	変更後																																				
P47	<p>6 庁舎増築棟整備の範囲            庁舎増築棟整備に必要な整備内容について以下のとおり            想定します。</p> <table border="1" data-bbox="225 334 1071 658"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>規模</th> <th>集約化に伴う整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①増築</td> <td>増築棟 (外構整備含む)</td> <td>地上4階 RC造 約6,500㎡</td> <td>峰山庁舎前駐車場敷地 に増築棟を建設する</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>			規模	集約化に伴う整備内容	①増築	増築棟 (外構整備含む)	地上4階 RC造 約6,500㎡	峰山庁舎前駐車場敷地 に増築棟を建設する	(略)	(略)	(略)	<p>6 庁舎増築棟整備の範囲            庁舎増築棟整備に必要な整備内容について以下のとおり            想定します。</p> <table border="1" data-bbox="1127 334 1972 658"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>規模</th> <th>集約化に伴う整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①増築</td> <td>増築棟 (外構整備含む)</td> <td>地上3階 RC造 約5,000㎡</td> <td>峰山庁舎前駐車場敷地 に増築棟を建設する</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>			規模	集約化に伴う整備内容	①増築	増築棟 (外構整備含む)	地上3階 RC造 約5,000㎡	峰山庁舎前駐車場敷地 に増築棟を建設する	(略)	(略)	(略)														
		規模	集約化に伴う整備内容																																			
①増築	増築棟 (外構整備含む)	地上4階 RC造 約6,500㎡	峰山庁舎前駐車場敷地 に増築棟を建設する																																			
	(略)	(略)	(略)																																			
		規模	集約化に伴う整備内容																																			
①増築	増築棟 (外構整備含む)	地上3階 RC造 約5,000㎡	峰山庁舎前駐車場敷地 に増築棟を建設する																																			
	(略)	(略)	(略)																																			
P48	<table border="1" data-bbox="225 748 1071 1260"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>概算事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工事費</td> <td>①増築工事費</td> <td>約36.5億円</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>約49.0億円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">関連費</td> <td>その他関連費</td> <td>約4.7億円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>約4.7億円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>約53.7億円</td> </tr> </tbody> </table>	項目		概算事業費	工事費	①増築工事費	約36.5億円	(略)	(略)	計	約49.0億円	関連費	その他関連費	約4.7億円	計	約4.7億円	合計		約53.7億円	<table border="1" data-bbox="1127 748 1972 1260"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>概算事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工事費</td> <td>①増築工事費</td> <td>約28.1億円</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>約40.6億円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">関連費</td> <td>その他関連費</td> <td>約3.9億円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>約3.9億円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>約44.5億円</td> </tr> </tbody> </table>	項目		概算事業費	工事費	①増築工事費	約28.1億円	(略)	(略)	計	約40.6億円	関連費	その他関連費	約3.9億円	計	約3.9億円	合計		約44.5億円
項目		概算事業費																																				
工事費	①増築工事費	約36.5億円																																				
	(略)	(略)																																				
	計	約49.0億円																																				
関連費	その他関連費	約4.7億円																																				
	計	約4.7億円																																				
合計		約53.7億円																																				
項目		概算事業費																																				
工事費	①増築工事費	約28.1億円																																				
	(略)	(略)																																				
	計	約40.6億円																																				
関連費	その他関連費	約3.9億円																																				
	計	約3.9億円																																				
合計		約44.5億円																																				

## (参考) 上記変更に伴う実質負担額の変化

項目	内容	概算事業費		
		変更前 増築棟規模 (4階建、約6,500㎡)	変更後 増築棟規模 (3階建、約5,000㎡)	
工事費	①増築工事費	増築棟及び防災倉庫建設	約 36.5 億円	約 28.1 億円
	②改修工事費	既存庁舎の経年劣化や集約化に伴う整備	約 10.4 億円	約 10.4 億円
	③解体工事費	既存建物の解体撤去	約 1.3 億円	約 1.3 億円
	④駐車場整備工事費	駐車場整備	約 0.8 億円	約 0.8 億円
	計		約 49.0 億円	約 40.6 億円
関連費	その他関連費	調査・設計監理費 移転・備品購入費	約 4.7 億円	約 3.9 億円
	計		約 4.7 億円	約 3.9 億円
合計			約 53.7 億円	約 44.5 億円

財源内訳	合併特例債	約 48.0 億円	約 39.7 億円
	一般財源 A	約 5.7 億円	約 4.8 億円

※合併特例債は、都合上、概算の総事業費のうちの合併特例債対象総額に充当率を乗じて算出

### (参考) 合併特例債償還金の試算

合併特例債償還額	①	約 56.0 億円	約 46.3 億円
うち交付税算入額	②	約 39.2 億円	約 32.4 億円
<b>負担額 ①－②</b>	<b>B</b>	<b>約 16.8 億円</b>	<b>約 13.9 億円</b>

※合併特例債償還金の試算・・・償還20年、利率1.5%、元金均等償還、元金据置2年で試算

<b>実質負担額</b>	<b>A+B</b>	<b>約 22.5 億円</b>	<b>約 18.7 億円</b>
--------------	------------	------------------	------------------

# 増築棟建設の場合と既存庁舎(峰山総合福祉センター及び網野庁舎別館)継続利用の場合の比較【中長期試算】

R4.4.8  
参考資料1  
修正版

合併特例債を活用し、増築棟を建設した場合(①)の方が、本庁機能の集約化を行わず、既存庁舎を継続利用した場合(②)より、以下の理由により優位であるため、合併特例債も活用できるこのタイミングで増築棟を建設することが最善策である。(市民の利便性及び行政運営の効率性向上以外の観点)

- i. 増築棟を建設した方が、真水として、**約12.5億円以上**の財政負担が軽減できる。( ← 前回資料 「約6.6億円以上」)
- ii. 上記(i)に加え、増築棟は新たな公有財産としての資産価値が**約9.2億円**高い。( ← 前回資料 「約15.5億円」)
- iii. 増築棟を建設せずに、本庁機能を集約化しない場合には、網野庁舎跡地活用構想等への影響が生じる(下段a.~e.参照)。

## 財政負担の比較

<試算の前提>

- ・ 峰山総合福祉センターは長寿命化改修により、2044年(R26)までの80年間使用することを想定
- ・ ランニングコストは、増築棟が20年目を迎える2044年(R26)までの20年間を想定
- ・ ①増築棟建設の場合は、健康長寿福祉部を増築棟に配置し、峰山総合福祉センターの在り方については、今後検討していくが、将来いづれ必要となる除却費用を計上
- ・ ②既存庁舎継続利用の場合は、
  - ✓ 峰山総合福祉センターは耐用年数を踏まえ、長寿命化改修及び約20年後に建替え
  - ✓ 網野庁舎別館は今後約30年間使用するため長寿命化改修を実施

【参考】建物の資産価値  
(約20年後等)

- ・ 総務省基準により算定
- ・ 増築棟については建設後20年経過時の資産価値
- ・ 峰山総合福祉センターについては、新築時の資産価値

### ①合併特例債を活用し、増築棟を建設した場合【約25.4億円】

【一般財源部分】	【合併特例債元利償還金交付税算入後の実質負担額】	約1.1億円	ランニングコスト(20年間) 約5.6億円 (増築棟)
約4.8億円 (増築棟建設、峰山庁舎及び大宮庁舎改修、網野庁舎別館除却等費用等)	+ 約13.9億円 = 約18.7億円		
R4~R7 約4.8億円	R7~R26 約0.7億円/年	R12 約1.1億円 (峰山総合福祉センター除却費用)	R7~R26 約0.28億円/年

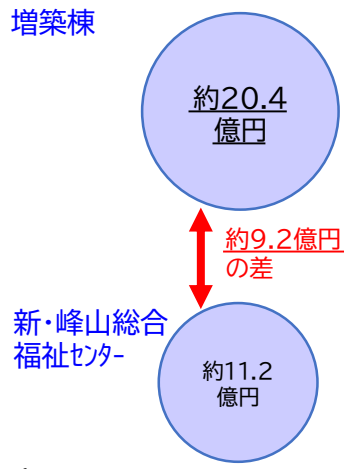
真水として  
約12.5億円以上の差

約8.7億円以上

### ②本庁機能の集約化を行わず、既存庁舎を継続利用した場合【約34.1億円以上】

約12.1億円 (峰山総合福祉センター長寿命化改修、峰山庁舎及び大宮庁舎改修、網野庁舎別館除却等費用等)	約14.1億円以上 (峰山総合福祉センター除却・建替等費用等)	約2.7億円	約1.2億円	ランニングコスト(20年間) 約4.0億円以上 (峰山総合福祉センター及び網野庁舎別館)	+ <別途> 約3.8億円 (合併特例債の繰上償還)
R5~R7 約4.8億円 R5~R6 約6.7億円 R33 約0.6億円	総合福祉センター長寿命化等 峰山・大宮庁舎改修 網野庁舎別館除却	R5~R6 約1.2億円	R7~R26 約0.2億円/年		R4 約3.8億円

(峰山総合福祉センター建替に係る建築単価の見直し分及びZEB費用)  
(網野庁舎別館長寿命化改修)



一般財源負担年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	計
①増築棟建設	0.1	3.1	1.0	1.5	0.98	0.98	0.98	0.98	2.1	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	25.4
②既存庁舎継続	3.8	1.5	7.4	4.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.7	15.5	37.3

は、1億円以上の差があるものを示す

なお、網野庁舎別館の20年後の資産価値は、その時点で築70年以上経過し、その後10年で除却折込のため、今回有意な比較対象から便宜上加えていない。

## その他本庁機能を集約化しない場合の影響(市民の利便性及び行政運営の効率性向上以外の観点)

- a. 丹後庁舎に上下水道部が存置する場合は、消防本部竹野川分遣所を分署化する際には、新たな建物が必要となる。
- b. 網野庁舎別館が存置する場合は、網野庁舎跡地活用構想における面的な利用が一定程度縮小せざるを得ない(右記(※)参照)。
- c. ②の場合は、網野庁舎ら・ぽーと(商工観光部)及び丹後庁舎(上下水道部)のランニングコストが更に必要となる。また、網野庁舎別館の建替が必要となる場合は、約9.6億円以上の真水が必要になると試算。
- d. 網野庁舎ら・ぽーとに商工観光部が存置する場合は、本来の集会室、研修室としての使用ができない。
- e. 防災対策上、②の峰山庁舎の方が、①の増築棟より耐浸水能力が劣る(さらに建物強度においても劣るものとなる)。

(※)



網野庁舎跡地活用構想  
予定地イメージ  
(赤枠内実線が現建設部  
棟であり、②の場合は跡  
地活用が十分にできない。  
現行の活用構想を縮小せ  
ざるを得ない。)